



指宿橋牟礼川遺跡

国史跡指定100年記念シンポジウム

日本の歴史を変えた 先史時代のポンペイ



2024 年

11月24日

13:00

17:00

開場 11:00



指宿市民会館 大ホール
鹿児島県指宿市東方 9300 番地 1
(ふれあいプラザなのはな館敷地内)

第一部《講演》

1 「ふたつのポンペイ」

青柳 正規 先生（東京大学名誉教授・元 文化庁長官）

2 「指宿橋牟礼川遺跡と国指定史跡」

水ノ江 和同 先生（同志社大学 文学部 教授）

3 「日本考古学の父 濱田耕作と縄文土器研究」

千葉 豊 先生（京都大学文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター 准教授）

4 「鹿児島県考古学研究の歩みと指宿橋牟礼川遺跡」

本田 道輝 先生（鹿児島県文化財保護審議会会長・元 鹿児島大学教授）

5 「南九州の火山災害史と指宿橋牟礼川遺跡」

栢畑 光博 先生（九州大学大学院比較社会文化研究院 特別研究員）

第二部《パネルディスカッション》

「指宿橋牟礼川遺跡 これまでの100年、これからの100年」



あおやぎ まさむり
青柳 正規 先生



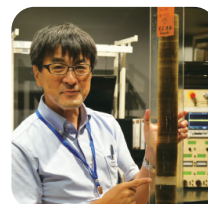
みずの え かずとむ
水ノ江 和同 先生



ちば ゆたか
千葉 豊 先生



ほんだ みちでる
本田 道輝 先生



くわはた みつひろ
栢畑 光博 先生

主催：指宿市・一般財団法人自治総合センター
後援：総務省（令和6年度シンポジウム助成事業）

お申し込み・お問い合わせ

☎ 0993-23-5100（指宿市教育委員会 生涯学習課）

申込方法

①電話・来館（9～17時）

②お申込みフォーム ▶



※託児あり（予約制となりますのでご相談ください）



参加
無料

📺 オンライン参加



YouTube 公式チャンネル「指宿市考古博物館」でライブ配信！

<https://www.youtube.com/@user-qw9vu6wd9w>



あおやぎ まさのり

青柳 正規 先生

1944年大連生まれ。古代ローマ美術・考古学を専攻。東京大学文学部教授、国立西洋美術館館長、文化庁長官、東京オリンピック・パラリンピック文化・教育委員会委員長 等を務め、現在、東京大学名誉教授、学校法人多摩美術大学理事長 他。

多摩美術大学提供



みずの え かずとも

水ノ江 和同 先生

1962年福岡県生まれ。同志社大学大学院文学研究科博士後期課程に進学後、福岡県教育委員会、九州国立博物館（福岡県立アジア文化交流センター）、文化庁記念物課を経て、現在、同志社大学文学部教授、同志社大学文化財保護研究センター長。

同志社大学文化財保護研究センター長。



ちば ゆたか

千葉 豊 先生

1960年愛知県生まれ。静岡大学、岡山大学大学院文学研究科修士課程、京都大学大学院文学研究科博士後期課程に進学後、京都大学文化財総合研究センター助教、准教授を経て、現在、京都大学文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター准教授。

京都大学文化財総合研究センター助教、准教授を経て、現在、京都大学文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター准教授。

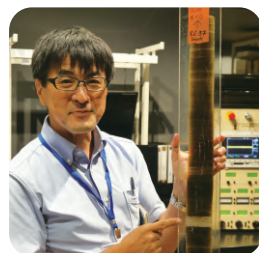


ほんだ みちてる

本田 道輝 先生

1949年熊本県生まれ。鹿児島大学法文学部卒業後、加世田女子高等学校教員を経て、2015年まで鹿児島大学法文学部教授。2021年まで鹿児島県考古学会長を務める。現在、鹿児島県文化財保護審議会会長。学生時代に指宿橋牟礼川遺跡の発掘調査に関わった。

鹿児島県文化財保護審議会会長。学生時代に指宿橋牟礼川遺跡の発掘調査に関わった。



くわはた みつひろ

桒畑 光博 先生

1963年宮崎県生まれ。鹿児島大学法文学部卒業。2014年に九州大学で博士（比較社会文化）学位取得。宮崎県都市教育委員会で2023年まで文化財課長を勤め、現在、九州大学大学院特別研究員 他。指宿橋牟礼川遺跡の発掘調査に携わり、火山災害考古学等を研究。

九州大学大学院特別研究員 他。指宿橋牟礼川遺跡の発掘調査に携わり、火山災害考古学等を研究。

“先史時代のポンペイ”
指宿橋牟礼川遺跡

IBUSUKI HASHIMURE



GAWA SITE

大正 13 (1924) 年 12 月 9 日に国指定史跡に指定された「指宿橋牟礼川遺跡」は、今年、指定から 100 年を迎えます。

本シンポジウムでは、指宿橋牟礼川遺跡の発見から指定までの歴史を振り返り、その重要性を紹介するとともに、多くの火山に囲まれて生活する私たちの生活にとって身近な課題である「火山災害」について考えます。

遺跡を発見したのは高校生！



大正 5 年、西牟田盛健という 1 人の高校生が縄文土器と弥生土器を拾いました。彼が発見した土器は、瞬く間に学会に知れ渡ります。

大正 7・8 年、京都帝国大学の濱田耕作博士らが発掘調査を実施。火山灰層を挟んで、縄文時代から弥生時代へと文化が変遷することが明らかになり、その成果から、大正 13 年に国指定史跡に指定されました。

「縄文土器が弥生土器より古い」ことを層位学的に証明！

新

時代

古



火山噴火で埋没したムラ姿を現す！

濱田博士は、指宿橋牟礼川遺跡を「先史時代のポンペイ」と呼び、火山災害遺跡である可能性を示しました。

そして、昭和から平成の発掘調査で、平安時代の開聞岳の火山噴火で埋もれた建物や畠の跡が実際に姿を現しました。指宿橋牟礼川遺跡は、災害の脅威を現代社会に発信する情報をも有していたのです。

